

# 元 運転手、賠償提訴

当時の県警本部長・知事ら相手

白バイ  
3/4

慰謝料など1千万円

春野町（現高知市春野町）

の国道で06年、スクールバスと衝突した県警交通機動隊の白バイの男性隊員が死亡した事故で、業務上過失致死の罪で禁固1年4カ月の刑が確定した元運転手(55)と家族が3

日までに、「職を失い、無実であるにもかかわらず1年4カ月の刑務所生活を余儀なくされた」などとし、当時の鈴木基久県警本部長ら県警関係者6人と当時の橋本大二郎知事の計7人を相手取り、慰謝料など約1千万円の国家賠償を求める訴訟を高知地裁に起こした。

訴えによると、事故の証拠はパソコンなどで偽造されたとし、当時の県警本部長と交通部長は証拠の偽造を命じ、ほかの県警関係者4人は証拠を偽造、知事は監督責任があ

った、などとしている。原告側の生田暉雄弁護士は「裁判を通じて県警の腐敗を正していきたい」と話し、県警監察課は「訴状を見ていないのでコメントできない」としている。